

ギャラリー ①

「泉」



こ すぎ ほう あん
小杉放菴作 1925(大正14)年
小杉放菴記念日光美術館所蔵

このコーナーでは、市で所有する絵画を紹介します。

この作品は、小杉放菴記念日光美術館のシンボリックな作品です。美術館の壁に埋め込まれ、常に展示されています。放菴のこの「泉」という油彩画は、1960年代末から1970年にかけての大学闘争の舞台として非常に有名な、東京大学安田講堂の舞台正面に描かれた壁画の習作です。大正時代の末ごろ、安田講堂を建設する際に、日本の最高学府を代表する建物にふさわしい壁画を飾りたいということで、当時、壁画制作の第一人者として評価が高かった放菴に制作の依頼がありました。放菴は、この作品のような習作を何点も描いて準備を重ねた後、安田講堂の壁画の制作に取りかかりました。

作品は、天平時代の美人を思わせる3人の女性が泉のほとりでくつろいでいる情景を描いていますが、穏やかな色調で全体をまとめています。しかも、めずらしい半円形の画面に、のびやかでありながら繊細な描写で、ゆったりとした雰囲気表現しています。湧き出す泉は、知識の源として、新しい思想や研究を生み出す大学を象徴しているとされています。

市民文芸

川柳 選者 日野原兀児

その時が来たら綺麗に髭を剃る 大島仁章
眉を引く負けぬ女がここに 手塚貴子
私書箱に昔話を秘めておく 斎藤雅裕
真実を言えぬ男の猿芝居 吉田貴博
眼鏡かけ隠しておこう奥の奥 永岡幸子
君が代の追いつくまでを待つ国旗 大塩大作
白衣見るだけで血圧上がり出す 高賀茂敏男

俳句 選者 須藤火珠男

野を駆ける少女の瞳黄水仙 渡辺ミチ子
啓蟄や足もとやわし夫と歩す 鈴木キヌ子
春の野の表現試行錯誤かな 福田美代子
丹精の紅梅香る鄙の家 斉藤愛華
たんぼぼの絮の遊泳三才児 小檜山忠
春めいて日毎水増す大谷川 佐々木清市
薄水を押して一筋鴨の道 高橋忠吉

作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。
応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109

地域 NEWS

皆さんの投稿で作る



ジュニアリーダー冬季研修会 2/28・今市

落合支部子ども会連絡協議会の小学生を対象に、埼玉県鉄道博物館と川口市立科学館を利用して、ジュニアリーダー冬季研修会を開催しました。科学館では、講師の説明を聞きながら、磁石を利用した工作実験に挑戦しました。磁石の有効な使い方を学び、仲間と協力して知恵を出し合い、作品を作り上げました。



文・写真：落合支部子ども会連絡協議会

ヒメマスはいかが？ 3/11・日光

日光市水産業連絡協議会では、渓流魚での地域活性化を図るため、中禅寺金谷ホテルでのヒメマス試食会と中央水産研究所での研修会を開催しました。現在のところは、生産量が少なく、安定供給が難しいヒメマスですが、旅館・ホテル関係者からは、漁協と連携し、地元産ヒメマスを活用したいとの意見が出されました。



文・写真：日光市水産業連絡協議会

生活記憶展を開催 3/22・今市

移転閉鎖された旧落合支所を改修した「生き、活き、意気交流館」で、生活記憶展を開催しました。当時の家具などで昭和30年代の居間を再現し、写真展示やこま遊び、駄菓子販売などで、当時を振り返るきっかけ作りの場となりました。



文・写真：生活記憶展実行委員会

産業遺産研究シンポジウム 3/28・足尾

足尾公民館で、宇都宮大学による「足尾地域の産業遺産の保全・活用シンポジウム」が開催されました。小西敏正教授による基調講演、今年度の研究成果報告に続いて、最後に「松木沢の自然環境の保全・修復と活用」をテーマに、宇都宮大学の若手研究者などによるパネルディスカッションが行われました。



文・写真：世界遺産登録推進室

JICA(国際協力機構)ボランティア派遣 3/19

青年海外協力隊として、西アフリカのベナンへ派遣される大橋香奈枝さん(和泉)が市役所を訪れました。大橋さんは2年間、看護師として主に現地の妊産婦への支援に当たります。「配属は保健所のような施設です。現地の方々と共に考える姿勢を忘れず、少しでも役立てるよう頑張ります」と抱負を語ってくれました。



文・写真：観光交流課

日光混声合唱団コンサート 3/22・日光

旧日光市制50周年記念歌「日光讃頌」を歌い継ぐために結成された日光混声合唱団。第4回の演奏会を小杉放菴記念日光美術館で行いました。今回は日光少年少女合唱団を迎え、「日光讃頌」を原曲どおりに合唱。また、最後に新市誕生記念歌「永遠(とわ)に」を合唱し、150人を超える観客の拍手で幕を閉じました。



文・写真：日光混声合唱団

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。募集する記事 自治会の催しや、地域のちょっとした珍しい出来事、心温まるエピソードなど ※内容によっては掲載できない場合があります。応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください) ○写真：紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可とします。あて先 〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係 Eメールアドレス hishokuhou@city.nikkou.lg.jp